

たより

平成21年2月13日
掃水まちづくり協議会
NO. 28



第3回の総会風景

今年の

「掃水まちづくり協議会」の総会は

日時 4月12日(日) 午後1時30分

場所 JA本店3階

多数の皆さんの参加をお待ちしています

豆腐づくり 保健福祉部

大豆を使って豆腐づくりを実施しますので、みなさんの参加をお待ちしています。
日 時 三月十四日(土) 午後一時から

・対象者 小学生以上の方
(小学生は保護者同伴でお願いします。)

・持ち物 エプロン、三角巾、持ち帰り用の容器(タッパー)

・参加費 ひとり百円

・定員 二十名(先着順)

・締切日 三月五日まで

・申し込み 市民センターへ

ふれあいウォーキング 一月二十五日(日) 安楽天神にて

前日は強風で、心配されました「ふれあいウォーキング」。当日はうって変わったような大変穏やかな絶好の日和。集合場所の安楽天神には朝八時頃から参加者が集まり始め、八時四十分ころには百五十名の方が集まりました。

当日、会場では安楽天神の大祭(初天神)が催され、住職の大鼓に合わせた読経の流れる中、例年のウォーキングとは少し違

った雰囲気の中で始まりました。開会では、会長の挨拶のほか、今回は、特別に安楽寺の新しい住職になられた三森住職のあいさつもあり、拍手で迎えられ、楽しいものになりました。

九時すぎから天神さんを出発し、参加者は知り合いと歓談をしながら、昨年ウォーキングで皆さんが関心を示した市の運動公園に向かいました。大変大な公園の工事の様子を見学しました。昨年とは、すっかり様子も変わって、一本の木もない山々が赤い地肌を見せていました。

見学後、まちづくり協議会や、安楽自治会の有志により山の下刈りや灌木の除去など実施され、よく整備された起伏のある山道をしばし楽しみました。山中を通り抜けるとそこには、大変のどかな普段見られない山間の田園風景がひらけました。何となく郷愁を誘う紀勢線列車を右手に見ながら山添町の神山神社に到達しました。ここでは宮司を務める吉村齊さんの神社にまつわる話を聞き、山添神社総代の有滝弘昭さんの丁寧なるあいさつを受け、帰路につきました。

安楽天神では、安楽自治会の総出によるもてなしがありました。豚汁が全員に振舞われ、ドラム缶に用意されたどんどこ火で暖を取りながらしばし話も弾みました。帰りには参加者全員に

空クジ無しの参加賞をいただき、十一時半頃、三々五々と帰宅しました。

*今回クジ引きの景品は、次の各所から提供いただきました。有難うございました。

・榎田郵便局様、第三銀行榎田支店様、ネットトヨタ三重様、ホンダカーズ三重様、松阪警察署生活安全課様、松阪ケーブルテレビ様、松阪商工会議所様、松阪農協榎田支店様、三重ダイハツ様、三重トヨタ様。

又、奥田商会様には、景品集めになにかとお世話になりました。かさねて御礼もうしあげます。

追伸 安楽天神は、この二月下旬、境内の梅の花が咲き美しい季節を迎えます。どうぞ、出てみてみてください。



シリーズ あいさつ 小学校一ねん

豊原町 金山 のえ

わたしは、おうちを出るとき「いつてきます。」

ときました。そして、学校のきょうしつへ入ったときは、

「おはよう。」ときました。

学校からかえたら、おばあちゃんか

「おかえり。」といてくれます。

わたしが、ママとおばあちゃんのお手つだいをすると、

「ありがとう。」

といてくれます。うれしい気持ちになって、またお手つだいしようとおもいます。

豊原町 おく田 なちか

わたしは、あさ、学校へいくまえに、「いつてきます。」

といて出てきます。

おうだんほどうで、となりのおばさんにあいました。そのときに、「おはようございます」って、いいました。おばさんは、

「えらいね。」

といてくれました。すぐくうれしかったです。

☆ おわびします

前々回たよりで、小学校二年 中山ゆうたさんの名前が違っていました。訂正し、お詫びを申し上げます。

掃水まつりを通して
思うこと

豊原町十四町内会長
上田真登

「いらつしやい！」「ありがとう
ございました！」昨年の掃水夏
まつりの豊原町自治会のテント
には、しよんが音頭に負けな
いくらいの叫び声と活気、そし
て笑顔があふれていました。

しかし、この日を迎えるまで
の約二ヶ月は予想外の忙しさで
した。たまたま軽い気持ちで夜
店の役員をお引き受けしたも
の、過去のデータがないため、
何をどう準備し、どう進めてい
けばいいのか全くの手探りの状
態。内心、こんなはずではなか
ったと少々後悔しながらも、あ
ちらこちらのお店に向き品定
めや交渉、そして試作品作り。
一步一步進めていく中で、様々
な知識や技術を持った町内会長
さんばかりでいろいろ助けてい
ただき、当日は沢山のお客さん
にも来ていただくことができました。

夏まつり自体はほんの数時間
のことで、経済効果のようなも
のではありません。しかし、ここ
には「地元のつながりの場」と
しての大切な役割があるように
思います。夏まつりを通して伝
統の継承、町や地域の方々の触

れ合いの場として十分に役割を
果たしているように思います。



今年度、自治会では「できる
ところから運動」に力を入れてい
ただいています。そのひとつに
「あいさつ」という項目があり
ます。あいさつをすることによ
って会話が生まれ、そこからお
互いを知ることができ、隣近
所への輪とつながります。それ
が「地域力」として大きなパワ
ーとなるはずですが、「大地震が発
生したときに地域の力は大きい
いかに地域住民が結束できるか
ですよ。それには普段からおま
つりなど楽しいことを通してひ
とつになれる機会を作るといい
ですよ。」というある講演会講師
先生のお話を思い出しました。
夏まつりに参加させていただ
き、私自身よい経験をさせてい
ただいたと思うと同時に、地域
のつながりの大切さ、地域力の
大切さについて考えさせられま
した。

知って得する昔の話

シリーズ その九
神山一乗寺

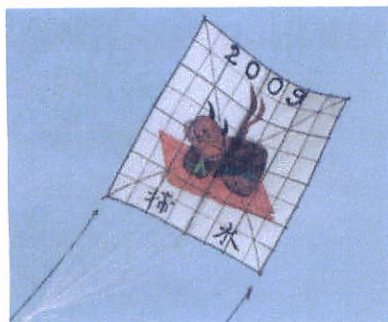
山号を神山、寺号を一乗寺、
俗称神山薬師とも呼ぶ。上宮太
子（聖徳太子）が樟の太木で自
ら丈六の薬師如来を刻み、堂舎
を建立したに創まると伝える。



延元元年（一三三六年）北畠
親房は後醍醐天皇を吉野へ迎え
ようとした時、南伊勢に下り、
田丸、神山、一ノ瀬三城を構築
し、そして、神山城には潮田刑
部左衛門幹景を配した。翌二年、
足利軍は畠山高国を大将として
田丸城を攻めた。また、同四年、
高師秋を将として神山城を攻め
た。この二度の戦いで田丸、神
山両城は互いに連携を密にし、
よく奮戦して敵を撃破した。
ことに法田の戦いや立利塚の

草刈のお礼

年末、年始のお忙しい時期の草刈にも
かわらぬ、多くの皆様のご協力有難う
ございました。美しくなった所をウオーキ
ングで利用でき、まちづくり協議会の運営
資金も得ることができました。来年度も掃
水草刈十字軍は活動の予定です。皆様是
ご協力をお願いいたします。



大きさ 幅：160cm 丈：200cm

戦いは有名で、大勝利を得てい
る。興国三年（一三三三年）
仁木義長、高師秋は大軍を率い
て神山城を攻め、潮田幹景豪の
者とはいえ、衆寡敵せず、つい
に神山城は落ちた。（田丸城も陥
落）この時、一乗寺も堂塔焼失
した。（二）本尊薬師如来は事前に
東麓の殿舎に移していたので無
事であったという。その後、文
明年中（一四六九）八六年）遊
行僧長阿、愛阿の両人が山麓の
薬師堂に宿していたとき、夢に
お告げがあつて、薬師如来の来
由を知り、行乞（托鉢して歩く
こと）して資を募り、山上の旧
跡に薬師堂を再建し、薬師如来
を復し奉った。後、国司北畠教
具は堂屋を再建、寺領を寄進し、
制札を立てて当寺を保護した。

この外、当寺には明応五年（一
四九六年）国司政郷、天文二年
（一五三三年）国司晴具が同様
制札を立てている。これら三枚
の制札は現在、市の重文に指定
されている。降つて、元禄十四
年天台宗安楽津に属して寺運は
栄えたが文政三年失火により鐘
楼、桜門、手洗屋を残して全焼、
その時、丈六薬師如来も焼失し
た。その後、九年の歳月を勞し、
天保二年復興し現在の寺姿を整
えている。（伊賀町 三宅忠行）

凧あげ

西黒部の大会に参加してきま
した。凧の制作は豊原の宇佐見
健さんを中心に、絵は同じく豊
原の安田晃夫さんに、糸巻は、
安楽の脇田實さんにお願ひして
清水の橋本泉さんにお願ひして
見事に揚がりました。
新春には、天王山で櫛田の凧
揚げ大会を行えればと思つてお
ります。